

2015年12月期 本決算説明会



本日も説明する内容

2015年12月期 本決算

代表取締役社長 柳 弘之

● 業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

経営業績：2015年（実績）

3期連続 増収・増益、持続的成長の基盤づくりとなる。

◇ 売上高	:	16,154億円	(106%)
◇ 営業利益	:	1,204億円	(138%)
◇ 営業利益率	:	7.5%	(+1.7pt.)
◇ 経常利益	:	1,252億円	(129%)
◇ 当期利益	:	600億円	(88%)
\$・€	:	121・134	
\$/IDR・\$/BR\$:	13,400・3.3	

経営業績：2016年（予想）

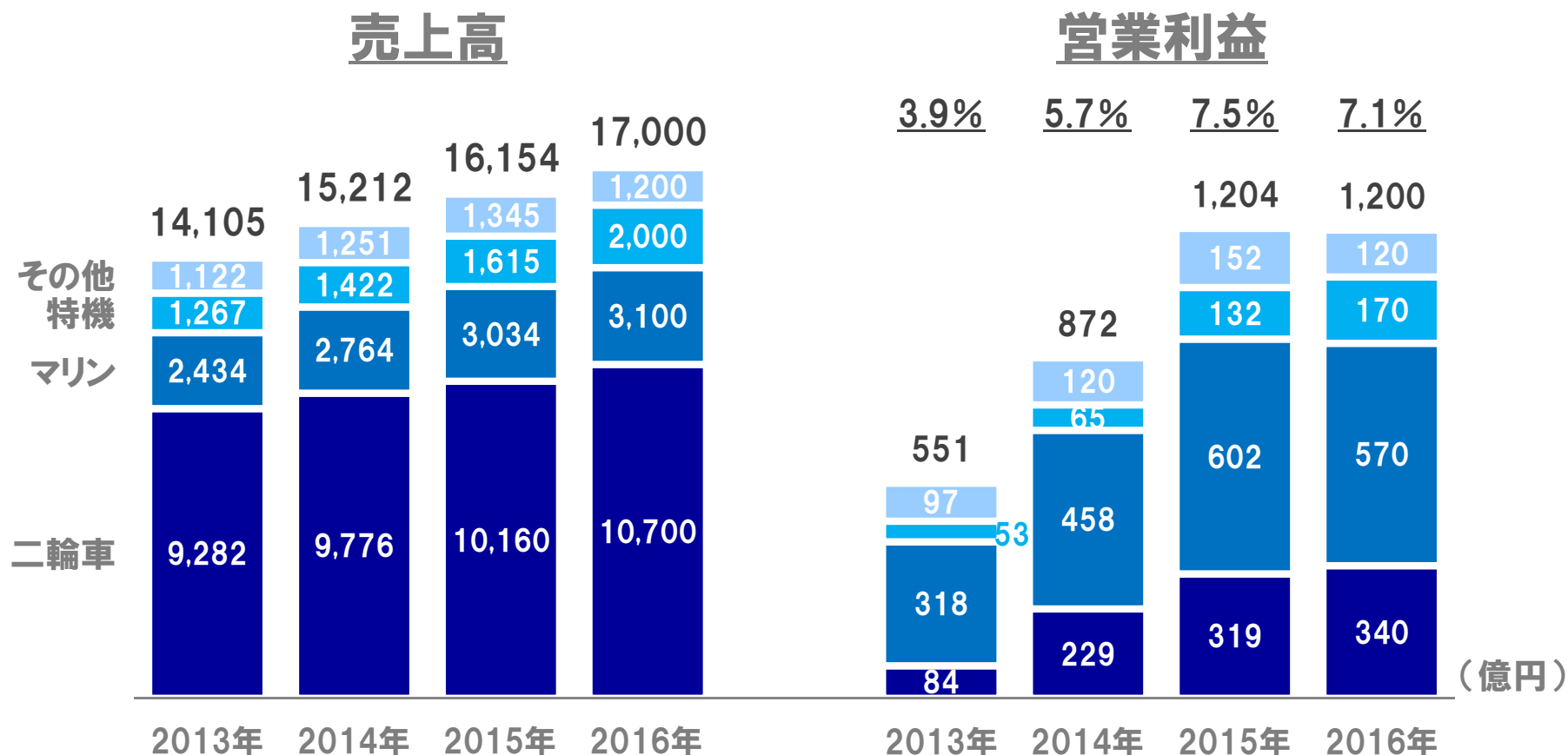
安定的利益を確保して、成長投資を進める。

◇ 売上高	:	17,000億円	(105%)
◇ 営業利益	:	1,200億円	(100%)
◇ 営業利益率	:	7.1%	(Δ0.4pt.)
◇ 経常利益	:	1,250億円	(100%)
◇ 当期利益	:	800億円	(133%)
\$・€	:	117・127	
\$/IDR・\$/BR\$:	14,000・4.0	

「当期利益」：親会社株主に帰属する当期純利益

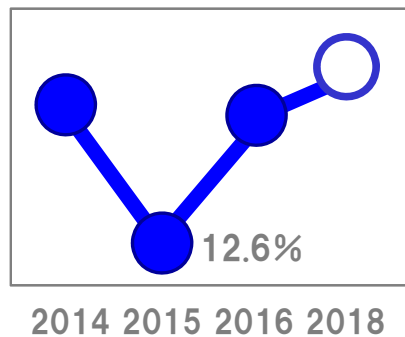
経営業績：セグメント別（実績・予想）

全事業セグメントで、安定的利益を確保する。

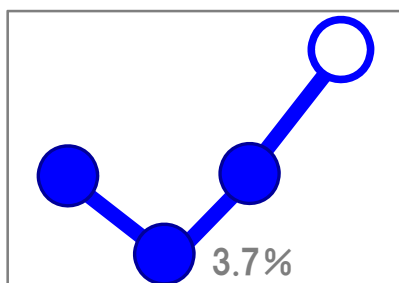


『ROE』経営の取り組み

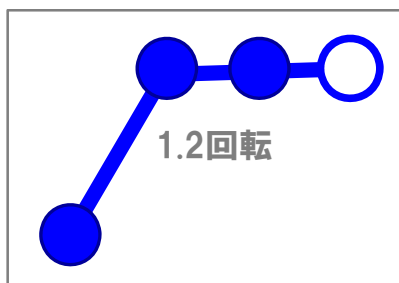
ROE



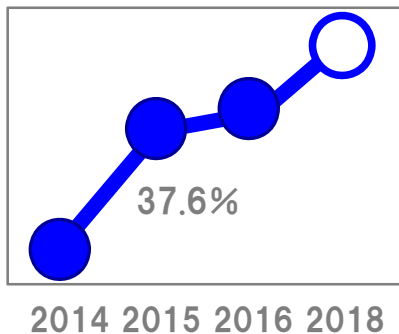
当期利益率



総資産回転率



自己資本比率



事業経営

(2018年営業利益率目標)

二輪車 (5.7%)
数量規模を追わず
高効率型へ

マリン (20%)
システムサプライヤー、
高収益・更なる成長

特機 (10%)
第3の基幹事業へ

その他 (10%)
高収益・个性的な
ビジネスモデル群へ

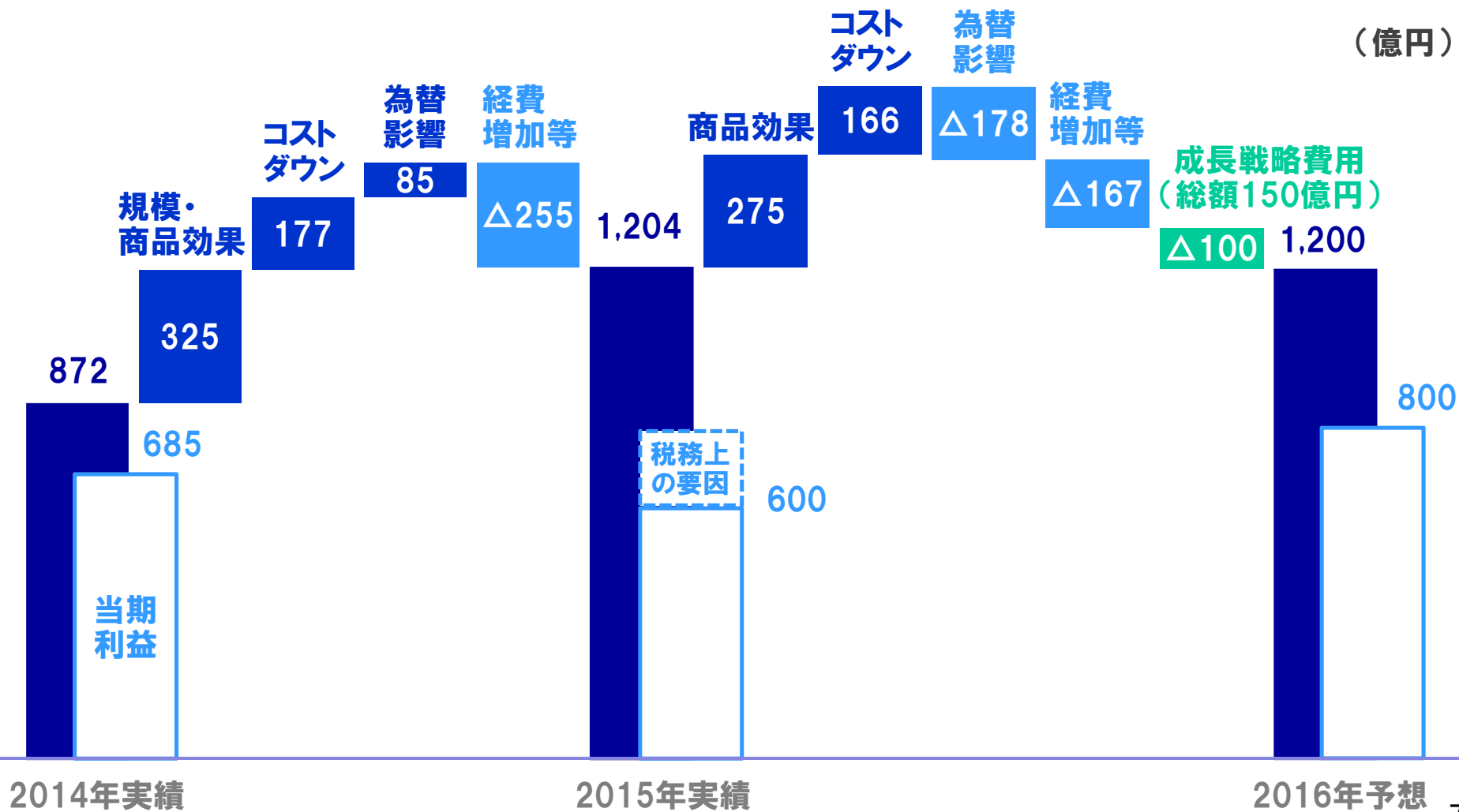
主な取り組み

(2016-2018年累計目標値)

- ①個性を創る (270モデル)
「発」「悦・信」「魅」「結」
- ②効率良く・旬を創る
・プラットフォーム開発
・グローバル開発
- ③重点市場を攻略する
・戦略的商品導入
・お客様と結び付く
マーケティング
- ④コストダウン (600億円)
・調達、製造・物流
- ⑤構造改革
・為替対策等
- ⑥お客様に近づくSCM
・流通在庫圧縮

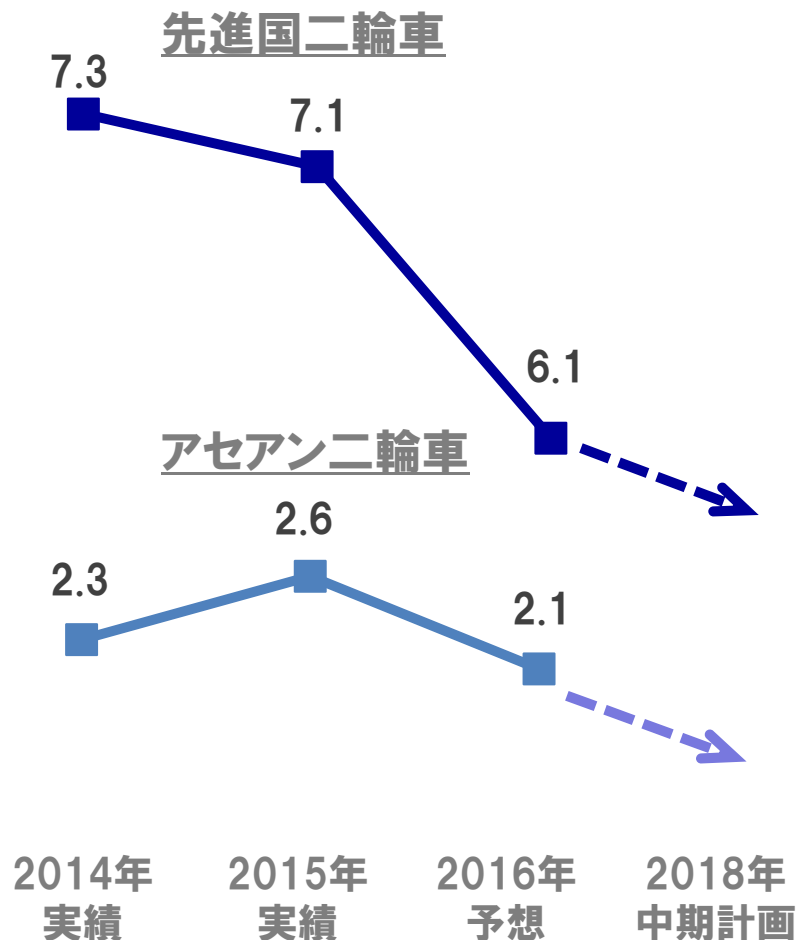
『ROE』経営の取り組み：収益力

安定的利益を確保して、成長投資を進める。



『ROE』経営の取り組み：資産効率

流通在庫回転（月数）



お客様に近づくSCM

■ 先進国

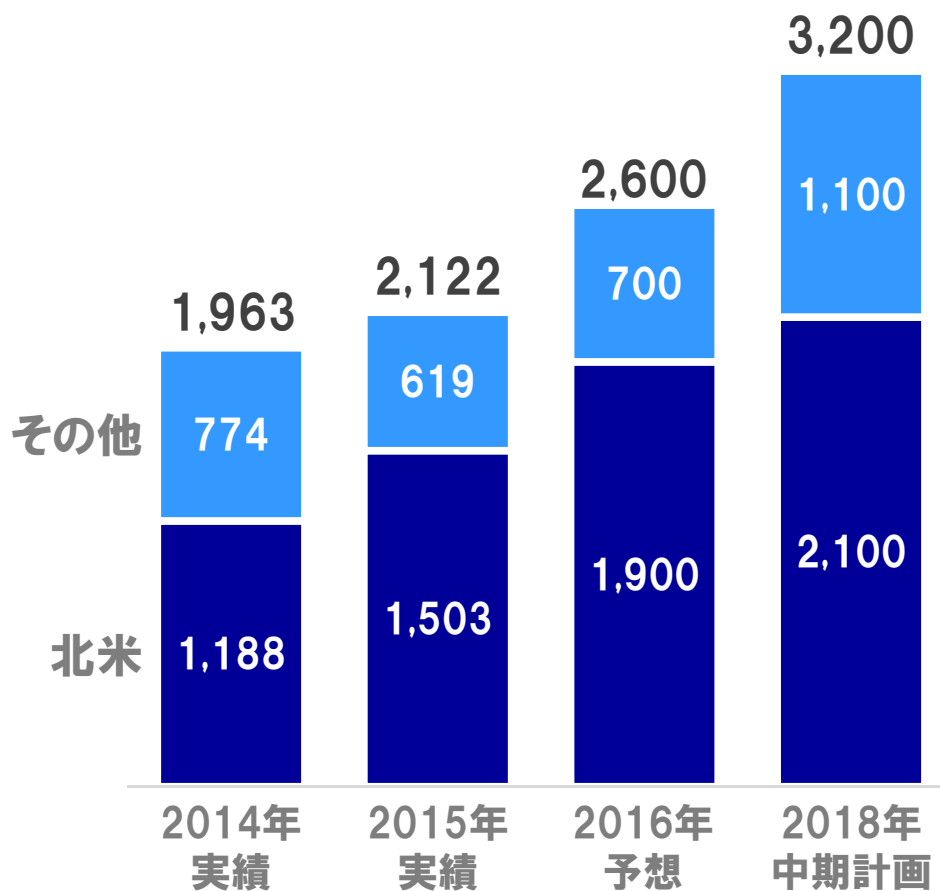
- ・生産～小売の一元管理
- ・生産リードタイム短縮
- ・在庫水準管理(販売店別)
- ・顧客対応する供給体制

■ 新興国

- ・グローバル生産体制の見直し
- ・輸出入リードタイム短縮
- ・販売網強化

『ROE』経営の取り組み：金融ビジネス

債権残高(億円)

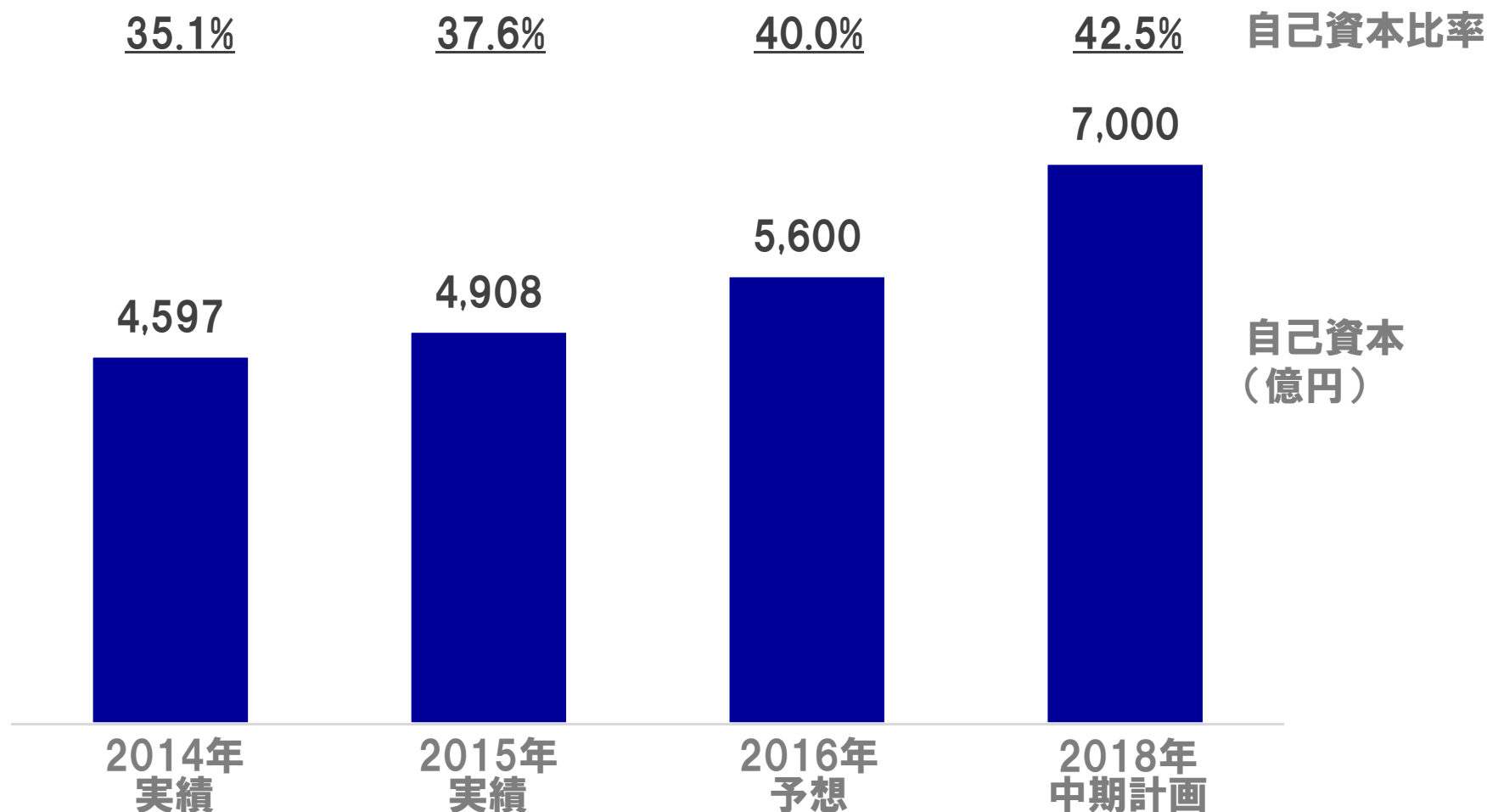


既存事業を支援する 金融ビジネス拡大

- 2013-2015年
 - ・本格的取り組み開始
 - ・米国、カナダ金融子会社設立
- 2016年
 - ・運営基盤強化
 - ・米国小売ファイナンス拡大
- 2018年
 - ・債権残高3,000億円 (ROA5%)へ

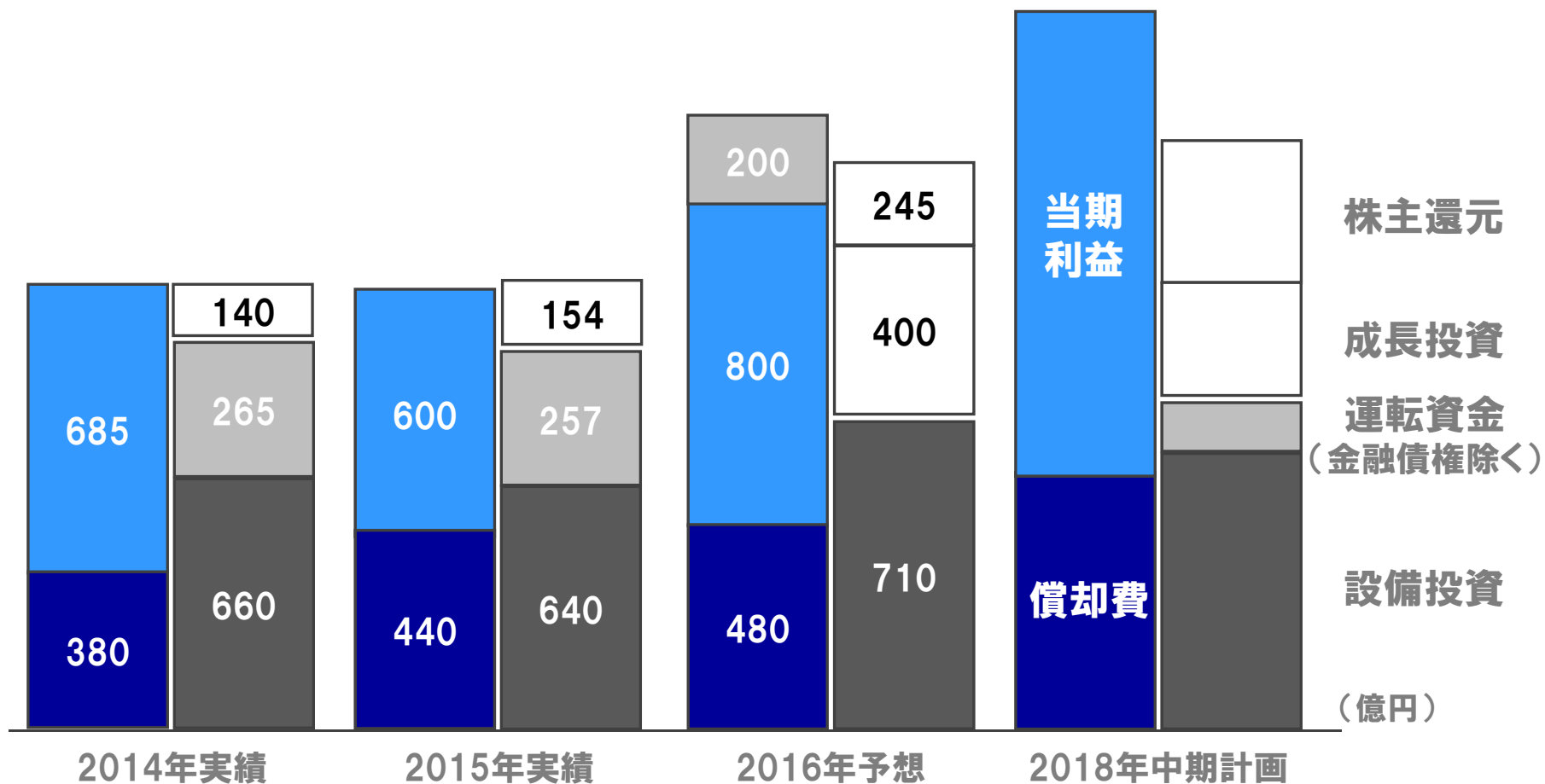
『ROE』経営の取り組み：自己資本

財務の安定性を高める。



「稼ぐ力」を高める経営：事業 CF

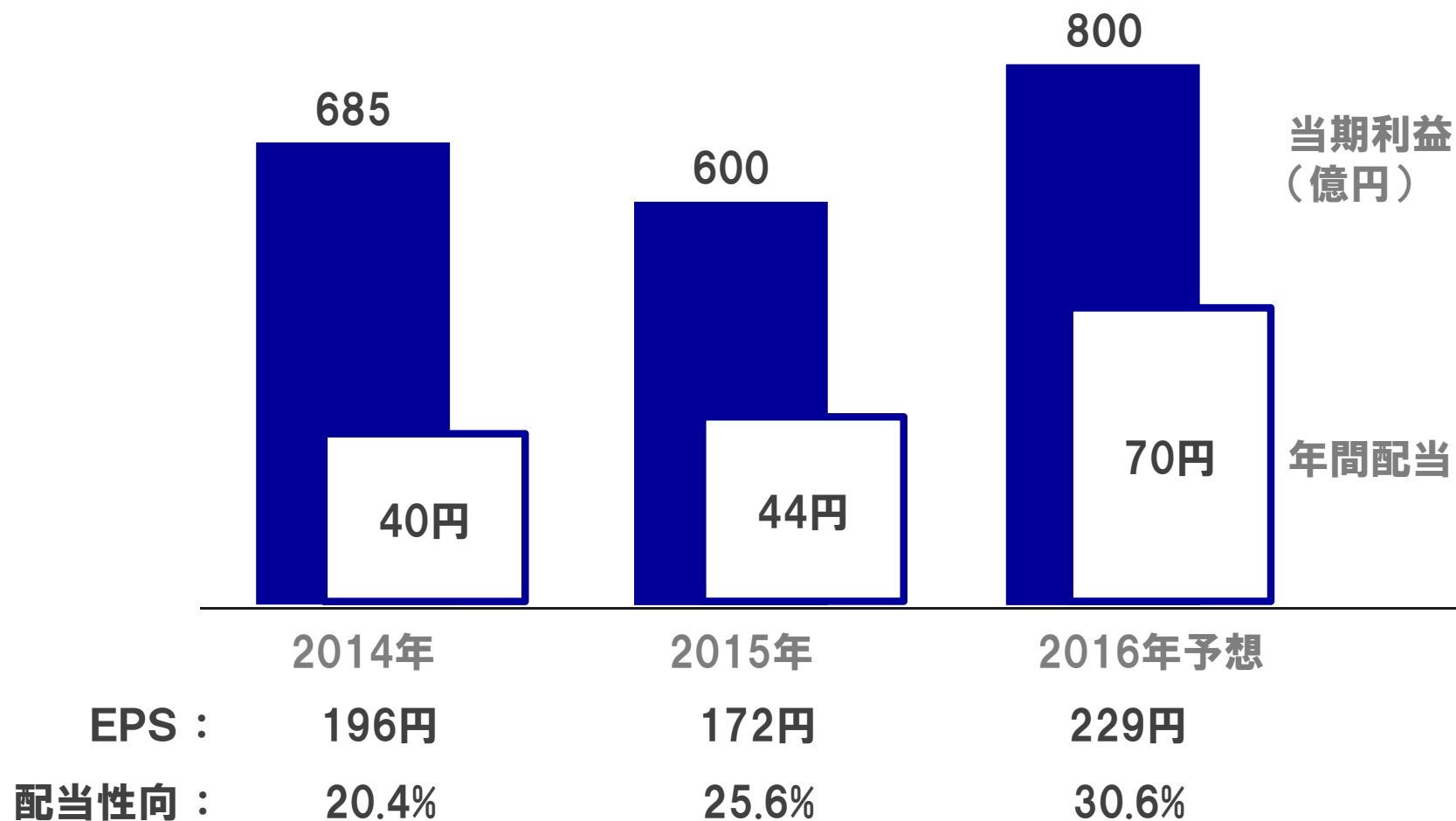
「稼ぐ力」を高め、成長投資・株主還元を増やす。



「稼ぐ力」を高める経営：株主還元

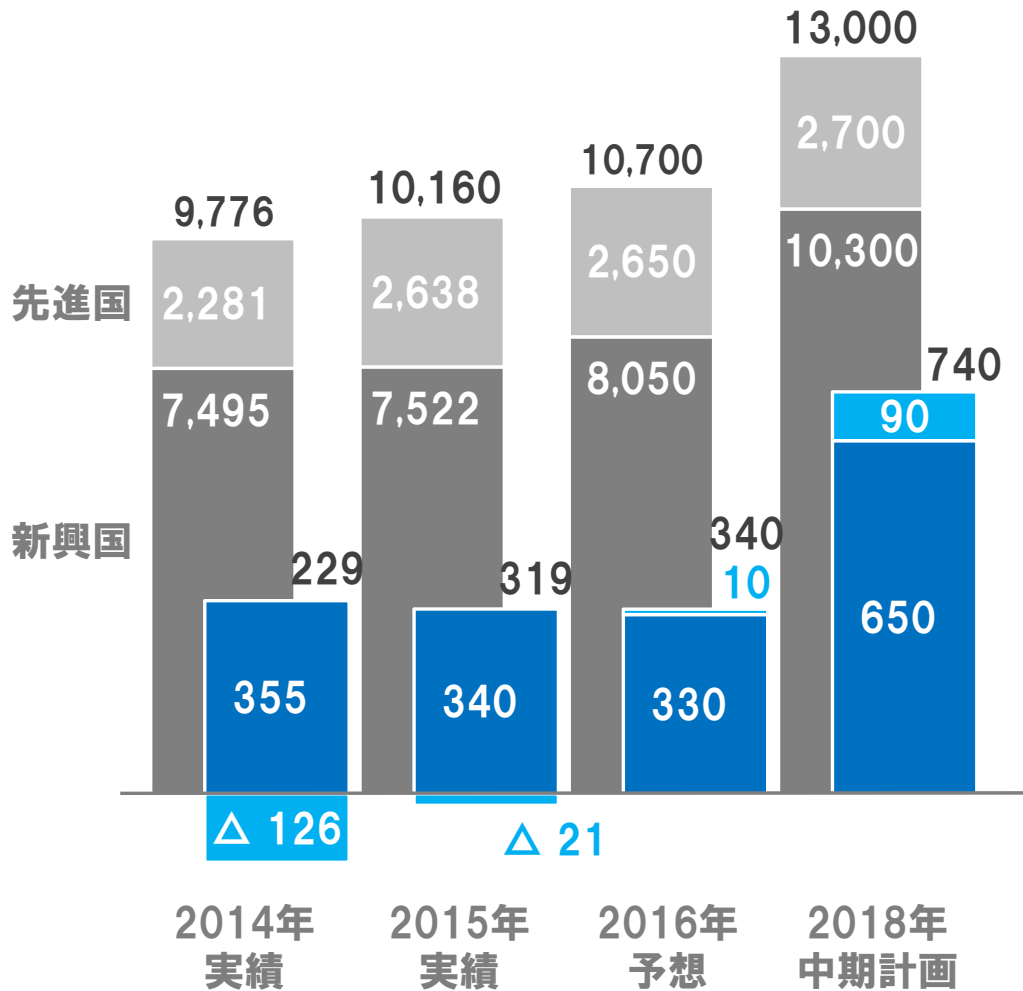
配当性向30%へ

2015年：44円実施、2016年：70円予想



二輪車事業：事業戦略

売上高・営業利益(億円)



『高効率型』の事業経営へ

■ 事業効率

- ・車体、エンジン開発集約
- ・コストダウン
- ・流通在庫圧縮

■ 商品競争力

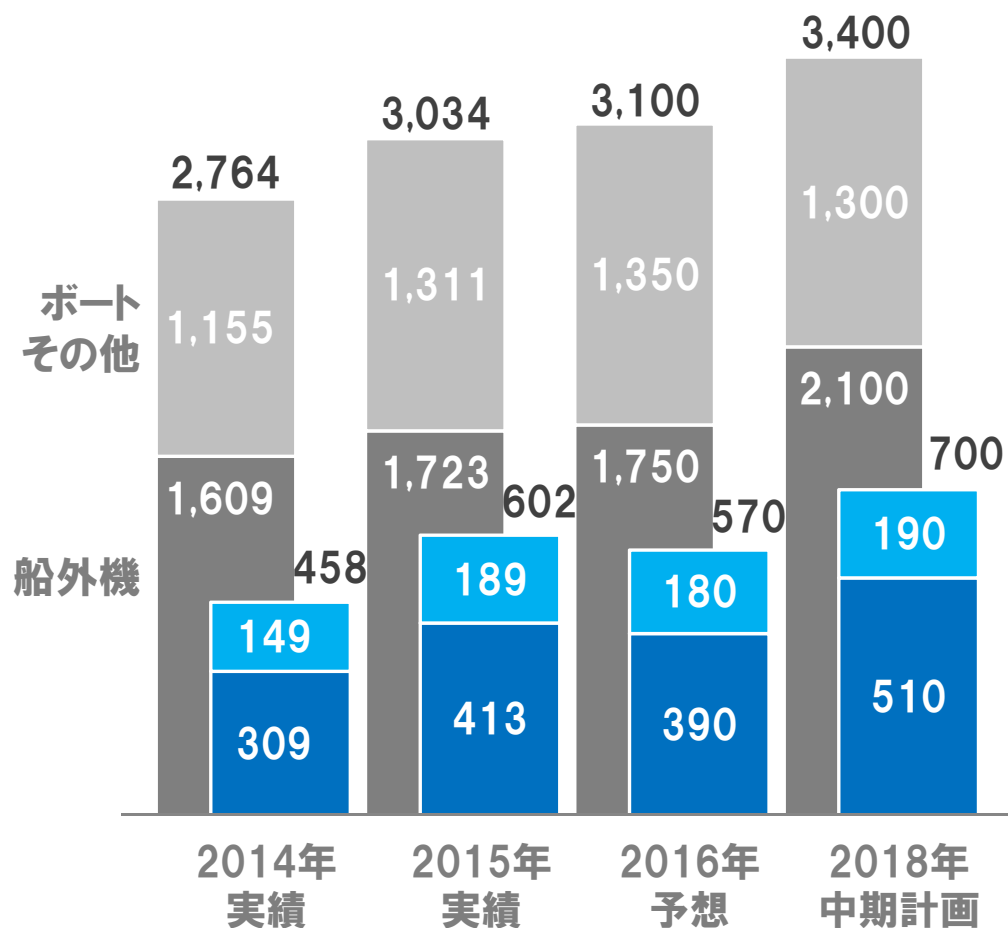
- ・先進国：ブランドを輝かせる
- ・アセアン：高価格市場攻略
+グローバル市場展開
- ・インド：低価格市場攻略へ

■ お客様と結び付くマーケティング

- ・欧州：3ブロック政策展開
- ・米国：bLU cRU 拡大
- ・アセアン：TCS 拡大

マリン事業：事業戦略

売上高・営業利益(億円)



『世界3兆円市場への挑戦』

■ システム・サプライヤーへ

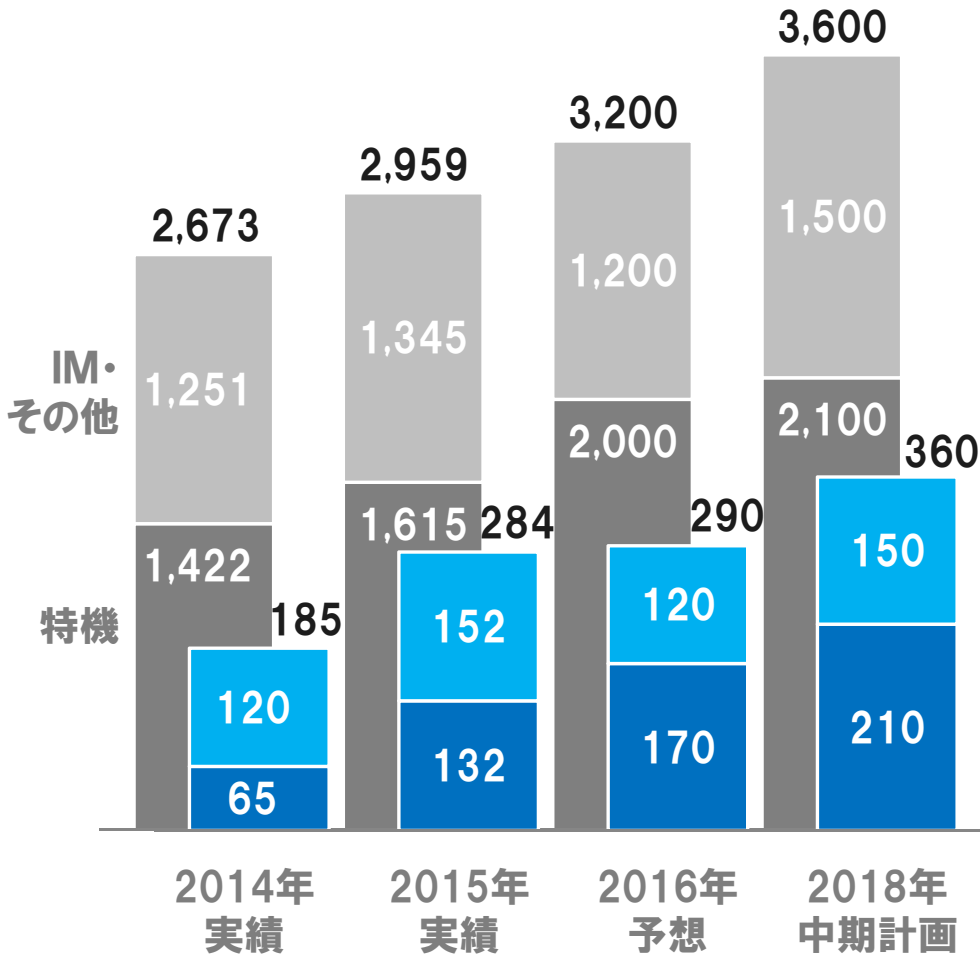
- ・エンジン：
大型モデル増販（北米・欧州）
- ・周辺機器：
アライアンス戦略等
- ・艇体戦略：
グローバル戦略、
新しいボート価値提供等

■ グローバル NO.1 ブランドへ

- 総合事業力・信頼性・
ネットワーク力を磨き続ける

特機・その他事業：事業戦略

売上高・営業利益(億円)



『個性的なビジネスモデルを創る』

- RV：第3の基幹事業へ
スポーツ NO.1ブランド確立、レクレーション差別化徹底等
- IM：強みによる高収益事業へ
マウンター
 - ・自動車、デバイス領域強化
 - ・次期統合モデル開発
 ロボット
 - ・新規ラインナップ拡充
- PAS：成長・収益基盤を固める
D/U 出荷実績 36万台(116%)、市場・顧客を更に広げる



YAMAHA

Revs Your Heart

主要商品別 総需要・当社出荷台数

台数単位:千台

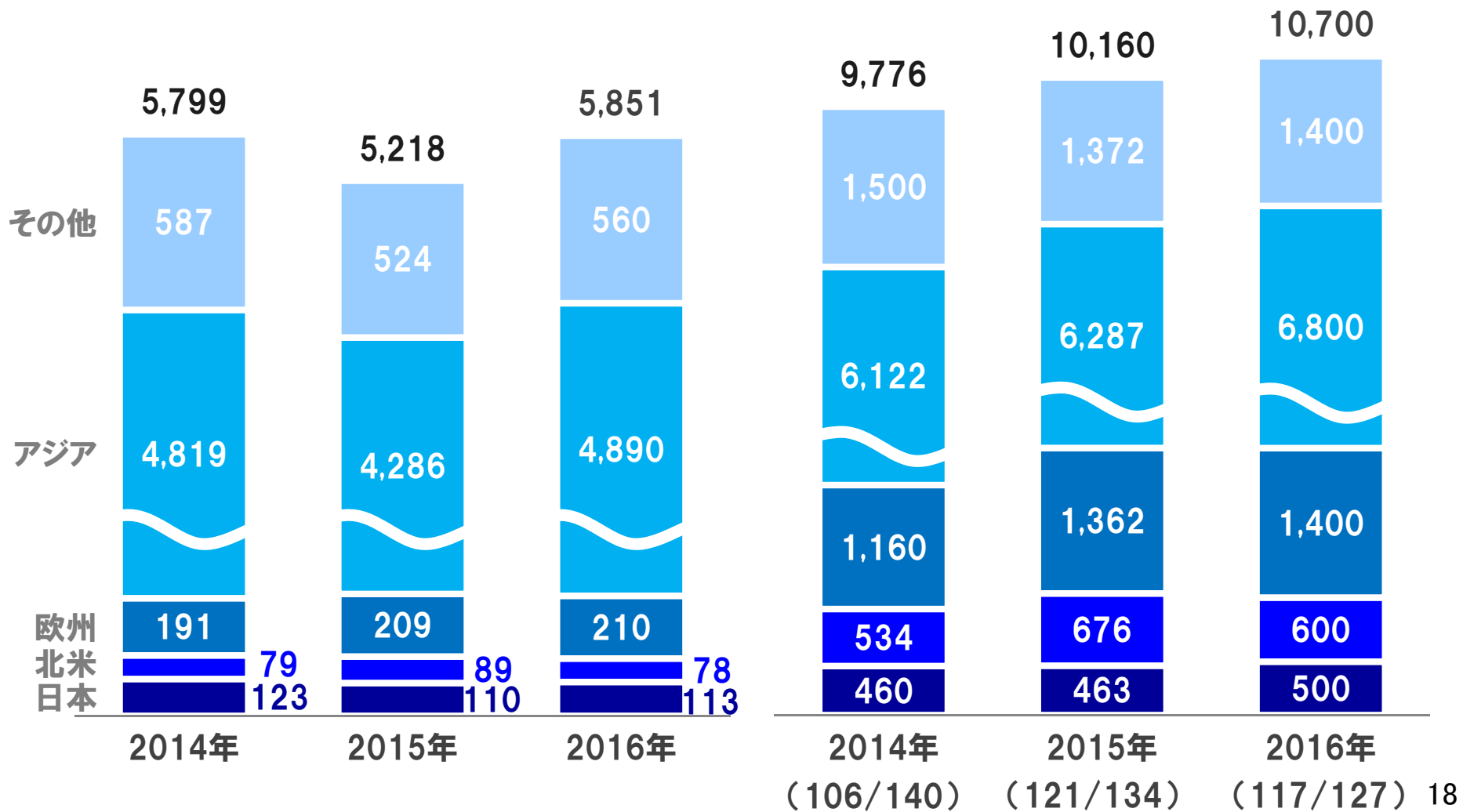
	総需要(当社推定)		
	14年実績	15年実績	16年予想
日本	450	407	400
北米	539	559	586
欧州	1,515	1,525	1,534
インドネシア	7,686	6,465	6,700
タイ	1,696	1,677	1,600
インド	15,996	16,089	16,989
ベトナム	2,711	2,849	2,870
台湾	666	706	670
中国	10,655	9,080	8,250
その他	4,395	4,070	4,750
アジア計	43,805	40,937	41,829
ブラジル	1,430	1,208	1,219
その他	7,931	8,000	8,035
その他計	9,360	9,209	9,254
二輪車計	55,669	52,637	53,603
船外機	808	742	702
ATV	436	435	425

	ヤマハ発動機 出荷台数		
	14年実績	15年実績	16年予想
日本	123	110	113
北米	79	89	78
欧州	191	209	210
インドネシア	2,371	1,799	2,000
タイ	223	225	237
インド	567	595	826
ベトナム	643	719	777
台湾	210	226	242
中国	445	307	347
その他	359	415	461
アジア計	4,819	4,286	4,890
ブラジル	181	131	134
その他	406	393	426
その他計	587	524	560
二輪車計	5,799	5,218	5,851
船外機	329	300	299
ATV	53	55	61

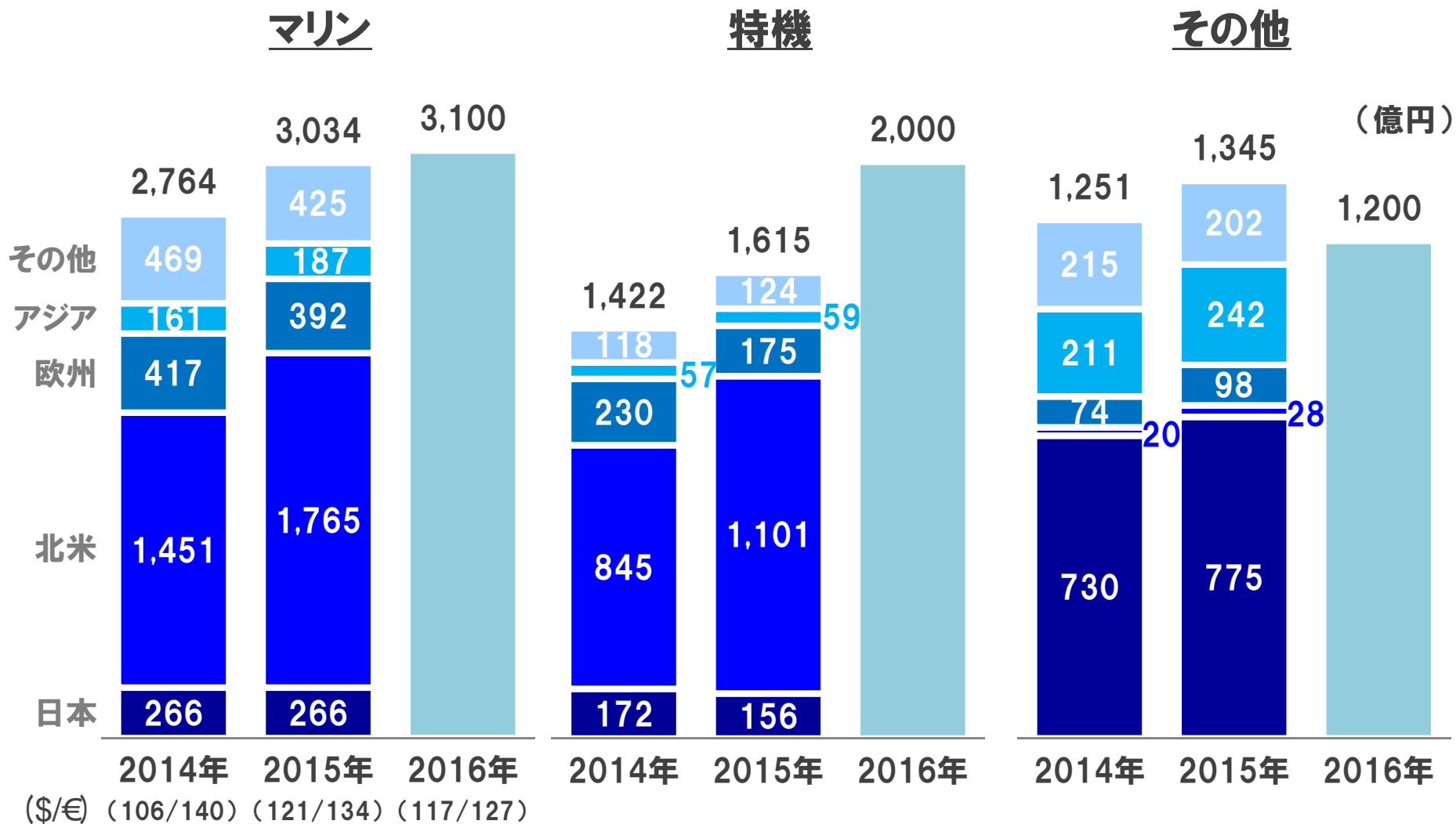
二輪車販売台数・売上高（年間）

出荷台数 (千台)

売上高 (億円)



マリン・特機・その他 売上高（年間）



※ その他：産業用機械・ロボット含む

為替影響（対前年）

(億円)	15年 実績(年間)				16年予想(年間)			
	US\$	EURO	その他	合計	US\$	EURO	その他	合計
本社の輸出入にかかる為替影響	223	△39	△23	160	△57	△41	△4	△103
為替による仕入影響（海外子会社）	0	0	△110	△110	0	0	△57	△57
粗利益の換算影響（海外子会社）	91	△18	48	120	△24	△24	△62	△110
販管費の換算影響（海外子会社）	△60	13	△37	△85	16	18	57	91
営業利益への為替影響	253	△44	△123	85	△65	△48	△66	△178

為替感応度

1円の変動が営業利益

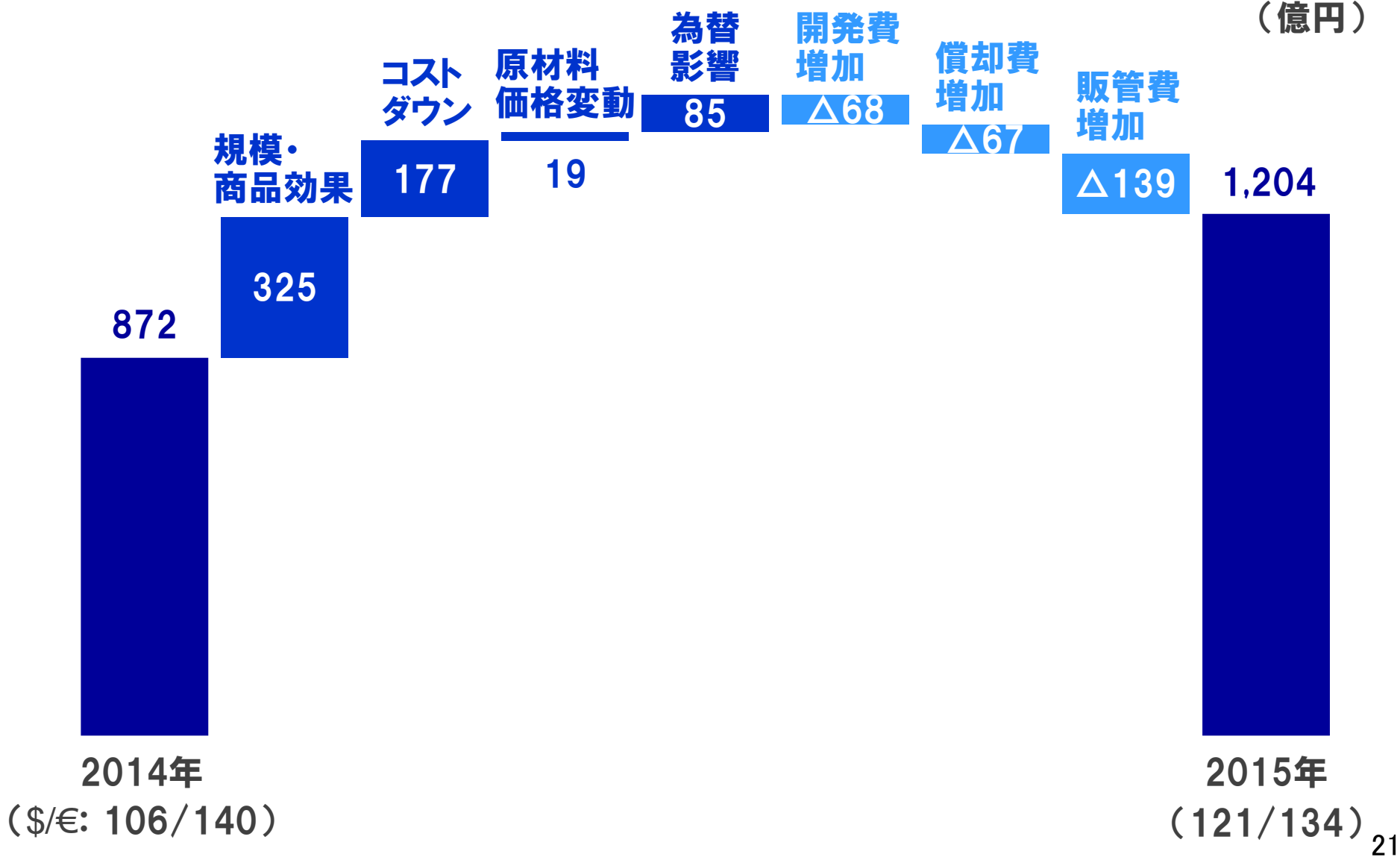
に与える影響額

US\$ 15億円
EURO 6億円

US\$ 14億円
EURO 6億円

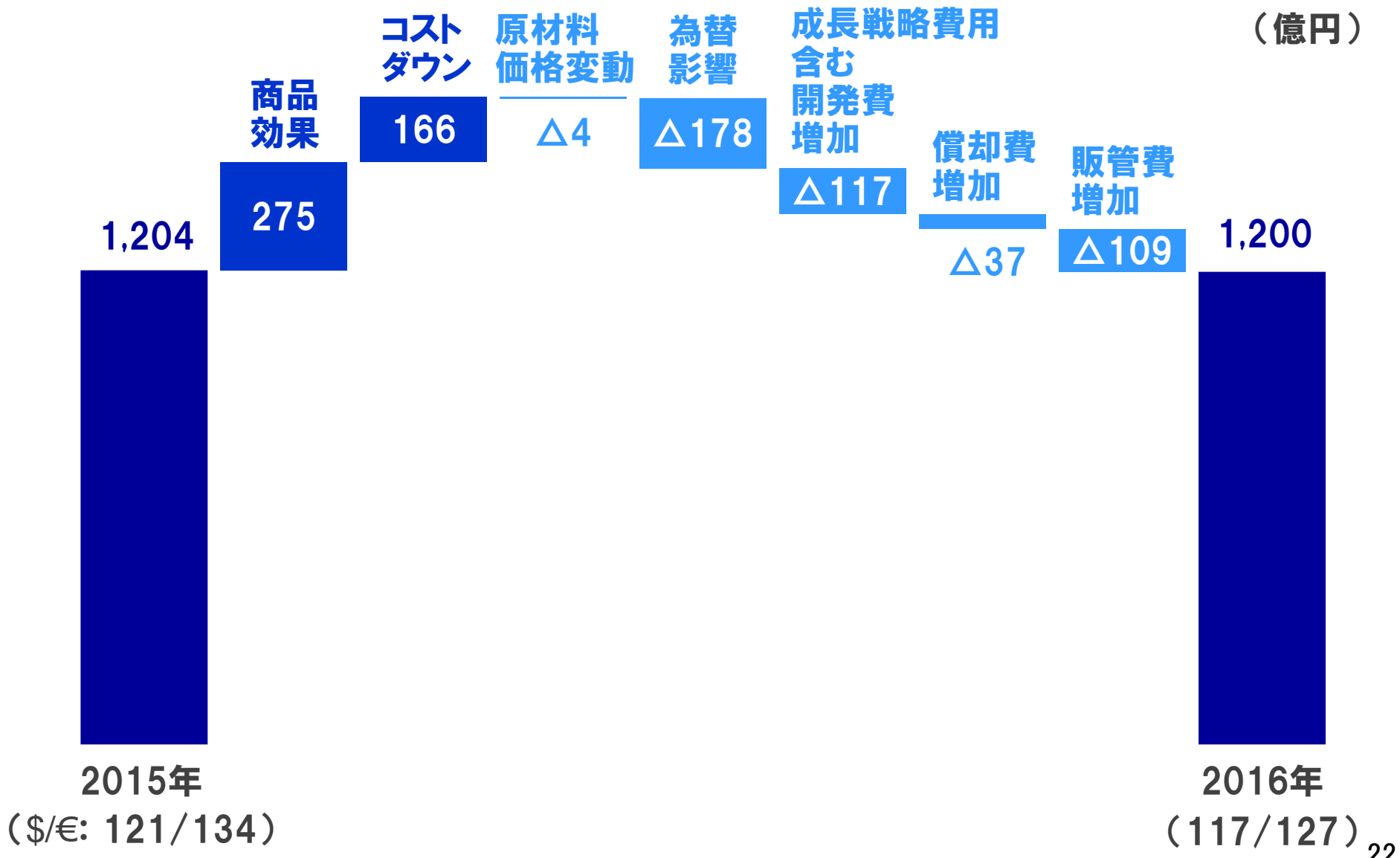
営業利益変動要因（2015年実績）

（億円）



営業利益変動要因（2016年予想）

（億円）



2015年

(\$/€: 121/134)

2016年

(117/127)